

こんな人達には飲酒を すすめないでください!

未成年



法律（未成年者飲酒禁止法）で 禁止されています

成長期にある未成年のうちから飲酒すると、心身に大きなダメージを受けいろいろな障害が体に起きやすくなります。アルコール依存症になる危険も高くなります。



体質



飲めない体質の人はアルコールの害を より強く受けます

お酒に「強い」「弱い」は、お酒を分解する能力（代謝能）アセトアルデヒドを分解する酵素をたくさんもっているかどうかによって決まる「生まれつきの体質」です。日本人の約半分はアルコールに弱い体質です。分解酵素を持っていないか、少ない人がお酒を飲むと赤くなります。アルコールに弱い体質の人は、飲酒により食道がんや大腸がんなどになりやすくなることがわかっています。



妊娠中



「胎児性アルコール症候群」を 引き起こす可能性が高くなります

妊娠中飲酒すると、胎盤を通じておなかの赤ちゃんの血液にアルコールが流れこんでしまいます。胎児はアルコールを代謝する能力が未発達なので影響を受けやすいのです。

授乳中



乳児のアルコール急性中毒の危険

飲酒すると、母乳を通じて乳児に直接アルコールの害が及ぶ危険があります。

